

## 第6講 発表と質疑

田中重人 (東北大学文学部准教授)

[テーマ] 発表と質疑応答；録画の見直しとふりかえり

### 1 発表と質疑応答

次回から、各論文の担当にしがって、発表を進めていきます。

- 発表者は、提示用のスライドのほか、配布用ハンドアウト (前回資料) と、スライドを圧縮印刷したものを人数分用意。
- 発表時間は10分 (±30秒)。プロジェクタのタイマーで、各自でコントロールすること。
- 発表後に、20分程度質疑応答。この質疑の時に何を質問するかを考えながら発表を聞くこと。
- 各自、発表や資料に対するコメントを書いて発表者に渡すこと (圧縮印刷スライドまたは別紙に)

受講者数が少ないため、発表の際は、聴講を受け入れる予定。

### 2 録画

発表内容は、観察室のカメラで録画します。発表者は、授業開始前に準備しておいてください。

- 授業観察システムの電源を入れる。
- Victor DV デッキを起動し、チャンネルを「L-1」に
- 録画用PCを起動し、Victor DV デッキ背面からのUSBケーブルをつなぐ
- 録画対象にカメラ1を選ぶ
- コントローラでカメラ1を操作し、適切な設定にする
  - Auto を切って、手動設定にする
  - カメラ1を選択
  - 位置とズームを調整
  - 焦点をオートフォーカスに
  - Iris をいちばん暗く絞る
- 録画用PCでPowerDirectorを起動。「キャプチャ」を選択し、カメラ1の画像と音声が入っていることを確認する
- PowerDirector 画面の録画ボタン (赤丸) を押すと録画開始。同じボタンを再度押すと録画終了 → 書き出すファイル名を聞かれるが、デフォルトのままよい

### 3 録画の見直しと振り返り

授業終了後に、録画を停止し、自分のプレゼンテーション部分を切り取ってファイルを作成。

### 3.1 ファイルの分割

- PowerDirector 画面を「編集」に変更
- 画面右上の動画を下の「タイムライン」にドラッグ
- 分割したいところでクリックし、「分割」
- 不要部分で右クリックし、「削除」

### 3.2 動画ファイルの書き出し

- PowerDirector 画面を「出力」に変更
- ファイル形式とサイズを選ぶ。通常は、「WMV」の 300 kbps か 1.6 Mbps

### 3.3 振り返り

1週間の中に、録画を見直しておくこと。

また、以下のようなポイントについて考えておく：

準備について

- 内容をどうやって組み立てたか
- どういう練習をしたか
- 原稿・メモなどをどうしたか
- スライド合計枚数と時間配分計画

当日のプレゼンテーションについて

- 構成についての反省点
- 提示資料についての反省点
- 配布資料についての反省点
- 練習にくらべて本番はどう違ったか（緊張した、早くなった、おそくなった、など）
- しゃべり方、発音についての反省点
- 身体の動きについての反省点
- 時間配分の点で失敗したところはないか
- 事前準備が必要だったことにあとから気付いたことはないか

質疑

- 質疑応答の際にうまくいかなかった部分はあるか
- その問題はどのようにすれば回避できるか

その他

- 次回プレゼンテーションでは、どのようなことを重点的に改善したいか
- (2回目以降の場合) 1回目とくらべて意識的に改善しようとしたこと; よくなった点と悪くなった点